

【生活排水】

方針1 地域に応じた生活排水処理の推進

取り組み・事業等	事業内容 (R4年度)	名称	単位	指標					達成度 (R4年度)	課題・方向性	担当課
				上段：目標値、下段：実績値							
				R2	R3	R4	R5	R6			
3-1 汚水処理施設の整備	下水道整備として、西部、中部、北部、東部、白根の処理区で約2.5kmの管渠整備。	汚水処理人口普及率	%	88.9	89.1	90.4	90.5	90.6	A	R2年度に、総合的な汚水処理の推進として、市街化調整区域を対象とした下水道整備区域の見直しと、下水道整備区域外の既存住宅については、下水道接続と同水準の費用負担となる新たな浄化槽設置補助制度を創設し、未普及地域の早期解消と持続可能な汚水処理運営を目指すこととした。また、市街化区域においても未普及地域の早期解消に向けた検討が必要となっている。	下水道計画課
3-2 対象世帯への指導・啓発	市内の下水道未接続世帯に対し、戸別訪問接続勧奨を実施。	下水道未接続世帯への戸別訪問接続勧奨	%	20	40	60	80	100	A	引き続き計画的な訪問勧奨活動に努め、目標を達成する。	西部地域 下水道事務所
				12.1	38	70					

方針2 効率的で効果的な生活排水処理施設の構築

取り組み・事業等	事業内容 (R4年度)	名称	単位	指標					達成度 (R4年度)	課題・方向性	担当課
				上段：目標値、下段：実績値							
				R2	R3	R4	R5	R6			
3-3 し尿処理施設の整備・統合・廃止の検討	し尿処理施設の整備・統合・廃止については、新潟県と協議を行い、「新潟県汚水処理の事業運営に係る広域化・共同化計画令和5年3月」が策定され、し尿処理の広域化の取り組みとして、下水道施設（県・市）でのし尿・浄化槽汚泥処理を推進する方針となった。	処理量減少・施設老朽化を踏まえた検討推進		方針決定 議会・地元 説明	阿賀北 停止予定	検討 方針決定	準備	準備	A	「新潟県汚水処理の事業運営に係る広域化・共同化計画」の策定により、将来的には下水道部局（県・市）とともに、協議を進め、整備内容やスケジュールの検討・協議を進める。	循環社会推進課
3-4 公共下水道等の施設活用	「新潟県汚水処理の事業運営に係る広域化・共同化計画」策定に向けた協議会において、し尿・浄化槽汚泥の下水道施設での共同処理について、要望を提出し、協議を開始した。	「新潟県広域化・共同化計画」における「下水施設でのし尿処理」の検討推進		協議開始	検討	検討 方針決定	準備	準備	A	「新潟県汚水処理の事業運営に係る広域化・共同化計画」の策定により、将来的には下水道部局（県・市）とともに、整備内容やスケジュールの検討・協議を進める。	循環社会推進課
				協議開始	検討	—					

方針3 環境保全のための広報啓発の推進

取り組み・事業等	事業内容 (R4年度)	名称	単位	指標					達成度 (R4年度)	課題・方向性	担当課
				上段：目標値、下段：実績値							
				R2	R3	R4	R5	R6			
3-5 環境保全活動の周知	・ホームページ「エコやろてば!」による情報発信 ・にいがた市民環境フェアの開催	情報発信の実施		実施	実施	実施	実施	実施	B	・にいがた市民環境会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動ができなかった団体が多かったため、今後はコロナ収束後の活動に対して、活性化を図れるよう支援する。 ・にいがた市民環境会議の活動を「エコやろてば!」等を通じてアピールし、環境に対する情報発信を積極的に行う。	環境政策課
3-6 環境教育の充実	・小・中学生向け電子版環境副読本作成 ・電子版環境副読本に関するチラシ、カード作成（市内小学校109校、中学校63校へ配布） ・ESD環境学習モデル支援校13校、前年度モデル校の学習成果物のパネル展を開催 ・ESD教員向け研修会を実施。	環境教育の支援		実施	実施	実施	実施	実施	A	・電子版環境教育副読本に引き続き、環境に関するデジタルコンテンツを作成し、さらなる環境教育推進を図る。 ・ESD環境学習モデル支援校に関しては、支援校が固定化し、ESDの普及が課題となっているため、教育委員会と連携するなどして、研修会や情報交換会などの普及体制を検討する。	環境政策課
				実施	実施	実施					